

祐善寺だより

第37号

発行日

2016年10月10日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

「祐善寺納涼祭2016」 盛況のうちに開催される！



納涼祭実行委員長
上野 養治



本堂で開会セレモニー

いつものように正信偈を子供達と一緒に勤めた後、住職からお仏飯のこと、お念仏のことのお話をいただきました。

たくさんの方々から食材や飲み物などをいただき品数多い献立になりました。昼食になると、子供達は暑い中でも流しそうめんやお餅・フライドポテトなどいっぱい食べて、その後、輪投げやスイカ割りと元気に遊んでいました。

余興のウクレレ演奏ではハワイを想わせる音色で、馴染みのある曲の演奏もあり一緒に歌ったりして和やかな時間を過ごしました。

終わりにには、ビンゴで参加者全員何かしらの景品を手を持ち帰りました。

他の人の幸せを願う行いとして震災地への募金も継続して行いました。募金額は九〇三九円でした。東本願寺へ熊本大震災地支援カンパとして振込みました。ご協力ありがとうございました。

七月二十四日(日) 第六回目の祐善寺納涼祭が行われました。

今回は十一時から開始でちょうど暑い真つ盛りではありますが、九十数名の方々の参加で盛況で終わることができました。

始めに、本堂で



スイカ割りも難しそう！

子供たちには、このような催しものに参加し遊びながら寺になじみ、大人と同じようにお堂で静かに教えを聴き、健康やかに育つていくことを願いながら納涼祭を終えました。



餅つきには女の子たちも挑戦！

皆様のご協力、
本堂に有り難う
ございました！！



茂幸雄氏講演
「死んだらあかん！」

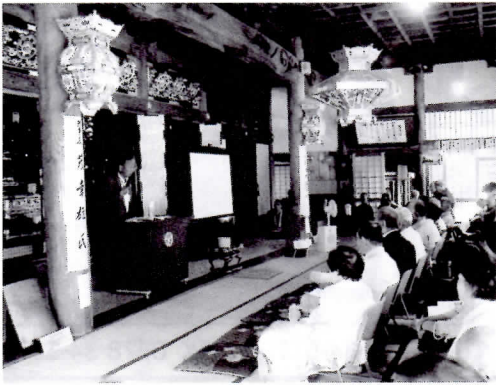
◆福井教区第四組

夏季講習会当寺で開催

渡邊千代一

大谷派福井教区第四組夏季講習会
 が八月三十日に当寺で開催されま
 した。第四組の寺院方、各寺の門徒会
 員さん、推進員さん、祐善寺の門徒
 さんたち、約七十名ほどの方々が参
 加して下さいました。

NPO法人心に響く文集・編集局
 理事長の茂幸雄氏の、東尋坊からの
 メッセージ「自殺したらあかん」
 の講演を聞き、大変感動しました。
 現職警察官の時に、東尋坊で毎年



茂先生の迫力あるお話しに、
 温かい人間愛を感じました

何十人もの尊い命が落とされている
 という経験をもとに、退職後、ボラ
 ンティアで自殺防止活動をされてい
 る方です。

家族関係、職場内、生活苦等、多
 くの悩みを持つて東尋坊に来る人が
 あとを絶たないそうです。人生に失
 望し、生きるあてもなくなつた人た
 ちを「良く聴き、共感し、最後まで
 見守る」まで、実例でわかりやすく
 お話しされました。

私も、十八歳の時に大怪我をする
 という経験をしたので、茂幸雄氏
 の話しが、痛いほどわかり、思い出
 して涙が出ました。参加者の中
 も、頷いたり、涙する人たちが多く
 いました。第四組夏季講習会には何
 回も出席しましたが、今回の講演
 が、私の心を最も強く打つたのは言
 うまでもありません。

最後は、大拍手のうちに夏季講習
 会は終了しました。

◆第四組夏季講習会で

耳にした嬉しい声

桑原文子

☆「こんなに広いお寺なのに、きれ
 いにしてあるね。毎日、掃除され
 ているのだろうな。」(講師の茂幸
 雄氏)

☆「桑原さんのお寺、気持ちのいい
 お寺ですねえ」(初めて鯖江から来
 られた女性)

☆「いい門徒さんがおられて良いで
 すね。皆、協力的ですね。皆さ
 ん、温かいですね。」(鯖江市のお
 寺の門徒会員さん)

☆「本堂の格子戸がきれいになりま
 したね。」(前回、来られた時に開
 けにくかった戸が、今回、新しく
 なっていたのに気が付かれた他の
 お寺の門徒会員さん)

祐善寺の門徒として、嬉しい言葉
 を聞くことができ、幸せでした。暑
 い日で、汗をふきふきのお手伝いと
 なりましたが、皆と喜び合いまし
 た。おもてなしの大切さを感じまし
 た。これからも、お寺さんご一家と
 心を通わせ、歩んでいきたいと思
 いました。

**東本願寺ホームページを
 検索してください**
〔納涼祭〕

先般、七月二十四日に開催した
 「祐善寺納涼祭2016」が、本
 山・東本願寺のホームページに、掲
 載されました。
 納涼祭を開催するに至った経緯が

ら、参加者や実行委員の感想等も収
 録されており、プリントアウトする
 と、A4版で五ページになります。
 皆様も、是非、東本願寺のホーム
 ページをのぞいて下さい。

尚、検索の仕方は、皆様のパソコ
 ン、スマートフォン、携帯電話等
 のインターネット検索画面から、東
 本願寺で検索、左側のコンテンツか
 ら浄土真宗ドットインフォをクリッ
 クして、がんばるお寺から「納涼祭
 を開催！ 福井県丹生郡越前町祐善
 寺」を探して下さい。

ご覧になられたら、(いいね)も、
 忘れないでください。

ホーム このサイトについて

浄土真宗
ドットインフォ

真宗大谷派(東本願寺)の
 浄土真宗のポータルサイト

教えにふれる 浄土真宗の教え入門
 がんばるお寺 元氣なお寺のレポート
 お寺deお役立ち お寺で活用! How to情報
 教区の教化行事情報 全国30教区の教化情報
 交流館の行事 しんらん交流館の行事

Home > がんばるお寺 > よく見られている記事 > 福井教区の教化レポート > You are reading >

納涼祭を開催！ 福井県丹生郡越前町 祐善寺

▲ 14fukui © 2016年9月11日 福井教区の教化レポート No Comment

LINEで送る

花だより

『花のよつば』

どの花もどの花も
みんなみんなそれぞれに
一生懸命咲いています
『わあっ きれい!』って
ほめる人など誰もいない
ずつとずつと山の奥でも
花達はやつぱり
一生懸命咲いてます

赤い花にも白い花にも
大きい花にも小さい花にも
懸命に咲く花にはそれぞれに
その花にしかない美しさ
授かっています



人の場合も花に似て
どの人もどの人も
その人にしかない良さを
授かって生まれています



勿論 あなただつて
あなただけの良さを授かって
生まれてきたのです
絶対にあなただけの良さを
授かって生まれてきたのです

あなたの良さが 何なのか
今はそれが分からなくても
一生懸命生きていけば
近い将来間違いなく
ああそうだったのかと
分かる日が来るのです
あなたのきれいな花が
ポツカリ咲く日が
きつときつとやってくるのです

必ず 絶対 間違いなく
あなたのきれいな花が
ポツカリ咲く日が来るのです

嬉しいその日を待ってます
みんなみんな待ってます
あなたの花が
あなたなりの美しさで
ポツカリ咲く日を
みんなみんな待っているのです

自分の花を咲かせるために
明日も一日 がんばろうね
みんなと一緒に がんばろう
明日もカラリと
晴れるといいね

(軍一)



平成28年度護持費の志納よろしくお願いします

祐善寺を永代に互つて護持
していただくために、護持費を
お願いしておりますが、今年も
次のおりご志納下さいますよ
うよろしく願います。

◇護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相続講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◇年額

一戸平均 一〇、〇〇〇円

◇志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座

(〇〇七七〇—九—三〇七二—)

・ 加入者〓祐善寺

へ振り込む

◇志納期限

毎年十一月末日

草刈奉仕作業を実施

上野三千男

毎年梅雨明けに実施している寺周辺の草刈作業。今年は、新庄地区と天谷地区の当番。

七月十七日(日)朝八時より十一時過ぎまで、役員さんや他の地区からの有志の方を含めて二十名で草刈作業を行いました。

天候に恵まれ、参加者の分担作業も捗り、八十数段の石段周辺もスッキリ。



参加者が、分担して手際よく草刈作業を行いました

私たちのお寺。今後とも大切に守っていきたいものです。

前坊守一周忌法要勤まる

若院 岡崎 優大

去る六月二十五日に前坊守一周忌法要が法中、坊守、親族、門徒等ご参詣の元、厳修されました。



北海道照恵寺住職菊池道丸師からは前坊守を偲んでの法話を頂きました

北海道北見市の照恵寺住職菊池道丸氏によるご法話にて、「前住職は、五十歳という若くして命終しましたので、遺された愛子伯母(前坊守)が、坊守として昼夜を問わず寺を護り、そして、本当に苦勞の中にあっても、ただひたすらにひたむきに百三歳を勤め上げた伯母であります。命終えても私共の中に心の年輪を重ねながら、讃辞を贈り、また称讃されていく伯母であろうのかなと思っております。」と話されました。私は、この法話を受け、女手一つで何から何まで、ご門徒の方々のことを第一に考え、お寺の為に本当に大変な功労頂いたと思っております。祖母の功績を称えようと共に門徒、お寺に來られる方々を大切にする祖母の気持ちを私共が受け継いでいかなければならないと考えます。

年内「年越し元旦参り」にご参加下さい!

皆さん、大晦日にお寺へ来て除夜の鐘を撞いて下さい!

大晦日にご先祖様が眠る祐善寺で除夜の鐘を撞きつつ、一年を振り返り、年明けと共に御本尊の前で、正信偈を唱和して、新しい年に願いを立てましょう!

内容

十二月三十一日

◆午後十一時 集合

◆午後十一時十分 かがり火点火

一年間、仏壇で使った蠟燭、葬儀用の位牌やお骨袋等の仏事等で使った不要となった品をご家庭から持ち寄って、鐘楼横で焚くかがり火で燃やして、感謝のお念仏を唱えます!

◆午後十一時十五分 除夜の鐘撞き

除夜の鐘に一年間の自分の煩惱を乗せて、強く撞き放ちます!

新年元旦

◆午前〇時 正信偈お勤め

年明けとともに、真っ先に御本尊にご挨拶をして、正信偈のお勤めをします!

◆午前〇時二十分「二年の計」表明

「一年の計(願い・誓い・抱負等)を、各人、御本尊の前で表明します!

◆午前〇時三十分 解散

本山報恩講福井教区団体参拝 参加者募集!

実施日 十一月二十四日(木) 日帰り

利用交通 大型バス

参加費 四千元

募集人数 四十名(各組毎)

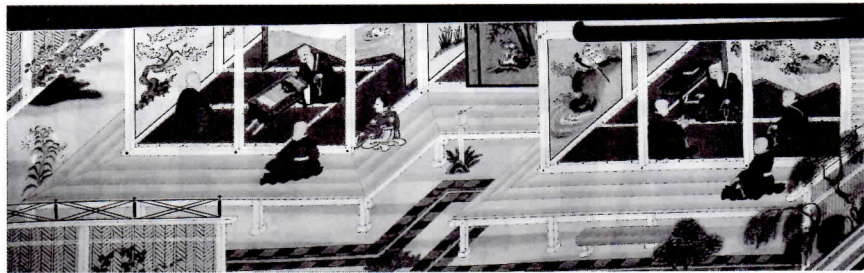
今年の真宗本廟(本山東本願寺)報恩講は、本山の両堂(御影堂・阿弥陀堂)等の御修復が完了して、初めて勤まる報恩講です。

両堂等御修復完了奉告法要の意を体した法要として厳修されます。本山での報恩講に、福井教区では、右記の通り、報恩講団体参拝参加者を募集しています。各組ごとに、大型バスが配車されますので、近くで乗車して参加することができます。

参加ご希望の方は、祐善寺までご連絡下さい。

参加定員がありますので、お早めにお申し込みして下さい。皆様の参加申込みをお待ちしております。

バス乗車時刻、乗車場所等、詳細については、参加申込者へ後日、ご連絡させていただきます。



吉水の法然上人のもとで学んでおられた親鸞聖人にとって、法然上人の御著『選択本願念仏集』の書写を、師・法然上人から許されたことは、感動的なことでした。

右図は、元久二年（一二〇五）四月十四日、吉水の禅房で師の高覧にあずかり、写本に「選択本願念仏集」の書題と「南無阿彌陀仏 往生之業 念仏為本」という副題、更に「釈綽空」という宗祖のお名前まで法然上人がお書きになり、授与されたときの図です。

右図正面向きで、御書を手にしておられるのが法然上人。七十三歳。両手で御書『選択本願念仏集』をお受けなさっているのが親鸞聖人、時に三十三歳。

左図は、同年七月二十九日、親鸞聖人が法然上人の御真影（肖像画）を図画し終えたところ、法然上人は、「南無阿彌陀仏」の御名号と、『往生礼讃』に記されている「若我成仏十方衆生」というお言葉をお書きになられました。しかも、聖徳太子の夢のお告げによって、綽空という名を改めて善信と名のろうとしていたところ、その善信の名も直筆でお書き下された感激の場面であります。

「親鸞聖人御絵伝」
浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讃えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟西仏房の孫、淨賀法眼に描かせています。

詞の部分「御伝鈔」、絵の部分「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。（参考文献『親鸞聖人伝繪』）

其の33

事 一口メモ

お墓(2)

今回は、墓石の正面に記す言葉についてお話します。

一般的に墓石には、「〇〇家の墓」「先祖代々の墓」と刻まれる場合が多いようです。これは、文字通り、〇〇家の代々の墓所（納骨所）という意味付けからでありましょう。昨今では、公営の墓地などにまじりますと、「夢」「旅路」「永遠」など、独創的な言葉も増えてきました。

浄土真宗では従来、「南無阿彌陀仏」や「俱会一処」などの仏語（仏さまの教えを表す言葉）を記してきました。こうした仏さまの教えを記すことで、お墓を仏縁の場といたただいてきたのです。

日常生活を振り返ってみますと、私たちは、忙しい忙しいと言いつつながら仏さまに手を合わせる（合掌礼拝）すら忘れて生活しています。

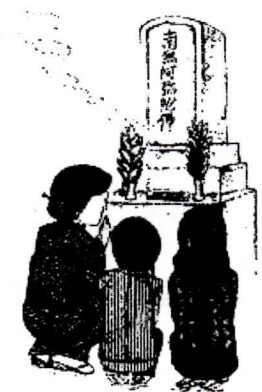
「いつか私たちに、仏さまは、生まれた意義に気づき喜びのある人生を歩みなさいと呼びかけているのです。その呼びかけに応じた姿が、南無阿彌陀仏を申すことなのです。仏さまの教えを自

らの依り所として生きます、と」の表白なのです。南無阿彌陀仏は、苦しみ・悩み多い人生のご本尊（本当に尊いことを教えてくれる真の依り所）となるのです。

前回でもご紹介しましたが、浄土真宗の教えに生きた四国讃岐の庄松さんは、「おれは死んでも石（お墓）の下にはおらぬぞ」と語ったそうです。確かに、死の事実からいえば身そのものはなくなりません。しかし、その人の生きた歩みは残ります。それは浄土真宗に生きた庄松さんの精神でありましょう。庄松さんは、遺骨を拜むのではなく仏さまを拜むのだ、ということをお教え示そうとされたのではないのでしょうか。

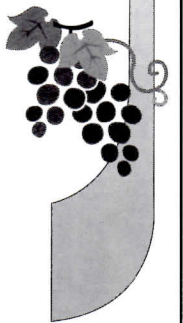
亡き人を仏さま（諸仏）といただくには、残された者が仏さまの教えに出あうことがなければなりません。その出あいが手を合わせる心、礼拝の生活を生むのです。

ですから、墓石正面に「南無阿彌陀仏」と記すことは、お墓を単なる納骨所に終わらせないということであります。そこには、私にまで流れてきた仏さまの教えにあつという、積極的な意味があるのです。



〔サンガ〕より

お知らせ



報恩講御案内

十一月二日(水)

日中 午前十時

お齋とき 午前十一時半

速夜 午後一時半

つきましては、親鸞聖人の御遺徳を偲び、右の通り報恩講を厳修いたしますので、万障お繰り合わせの上、御家族、御近所、御法友お誘い合わせの上、何卒御参詣下さいますよう、御案内申し上げます。

婦人部活動にご参加下さい

婦人部の活動も四年目となりました。お蔭様で、活動に参加して下さる方も増えてきており、嬉しく思っております。声かけをして下さる方、参加してみようと思っ下さる人たちの、心の温かさ感謝しております。

ご自分の年齢、体力を考え、決して無理はせず、ほんのちよつとのお手伝いをしていただけるとありがたいです。一時間位だけでも結構です。よろしくお願いいたします。

昨年、一昨年と男性の方も参加して下さり、力強いお助けまさんのお陰で、仕事ははかどり、お寺はピカピカになりました。今年も、ご都合をつけて参加していただくと嬉しいですよ。

細い坂道を登りきると、祐善寺さんがいつも私たちを待っていてくださいます。空気が澄み、木々の緑の美しい祐善寺さんで、顔を合わせ、お話をし、一緒にお仕事ができるのを心待ちにしております。(桑原)

日時 十月十六日(日) 午前九時集合

活動内容

- 本堂・庫裡のガラス拭き
- 掃除機かけ等
- 持ち物
- 古手拭・古タオル等

★手作りの軽食を用意させていただきます。



ボランティア募集!!

雪囲い作業奉仕

とき 11月6日(日)

8時集合(小雨決行)

持物 鎌(カッター)、軍手、合羽(悪天時)等

傷害保険 加入します。

作業内容

雪囲い作業は、高所での作業ばかりでなく、高所が苦手な方は、地上で雪囲いシートのヒモ結びや資材運び等の作業もありますので、ご都合のつく方は、是非ご協力をお願いします。

お願い

甚だお手数ながら、ご協力いただけます方は、前日正午までに祐善寺へご連絡下さいますようお願いいたします。



編集後記

★リオ五輪が終わり「がんばった、日本」。十二種目で金、八種目で銀、二十一種目で銅。ロンドン五輪を上回る成績。これで東京五輪が楽しみ。「がんばれ日本!」がんばれ小池!

★今年の台風は、八月に頻繁に発生し、お盆の頃から週に一〜二度のペースで日本に上陸しました。八月中に四つが上陸するのは過去最多であり、また北海道に三つの台風が上陸するのも最多だそうです。

★北海道・東北では、大雨による甚大な被害が出ておりますが、幸い、越前町では被害もなく安堵しているところですよ。しかし、九月に入っても雨ばかりが気になる毎日でしたが、ようやく過ぎやすい季節となりました。

★これからは、家族で食欲の秋を満喫したいですね。

(上野三千男)

